

記者発表（配付）資料

平成 24 年 3 月 1 日

所属部課	館長	副館長	担当	連絡先
萩博物館	湯本重男	樋口尚樹	樋口尚樹	25-6447

件名	テーマ展「遷暦元年・「星の会」のあゆみ」について
----	--------------------------

萩博物館では今年度エントランスホールの一画などを利用して、時節に応じた小展示を予定しています。今回の展示は、このテーマ展示では、遷暦を迎えた「星の会」のあゆみや、天文施設や設備、機器の変遷、この「星の会」の運営に多大な支援・協力をいただいている萩天文同好会について、数々の写真と当時の資料で紹介します。

「星の会」は、昭和 21 年（1946）開館した萩科学館が、昭和 25 年（1950）萩市公民館付設の萩市科学博物館として再発足した翌年の昭和 26 年（1951）に始まりました。以後、「星の会」は、昭和 34 年（1959）の萩市郷土博物館開館後、平成 16 年（2004）の萩博物館開館後も継続して開催され、今年で 61 年目すなわち遷暦元年を迎えました。

また、萩天文同好会は、天文学を通して市民への自然科学の普及を目的に、昭和 34 年（1959）4 月、三吉富士子氏を会長として誕生し、今年で 53 年目を迎えました。

1. 会期 : **平成 24 年 3 月 3 日（土）～4 月 27 日（金）**

2. 会場 : 萩博物館エントランスホール（山口県萩市堀内 355 0838-25-6447）
無料で観覧できます。

3. 開館時間 : 午前 9 時～午後 5 時（入館は午後 4 時 30 分まで）

4. 展示内容 : 実物・写真をふくめ 59 点

- ・「星の会」、萩天文同好会の活動風景写真
- ・「星の会」発足当時の天体望遠鏡（4 インチ屈折式望遠鏡）
- ・萩天文同好会撮影天体写真 10 点
- ・日食・星雲・星団などの天体写真 23 点



昭和 34 年 (1959) に新築開館した萩市郷土博物館には、天体ドームの土台は作られたが、長い間、ドームは建設されなかった。



昭和 42 年 (1967)、萩天文同好会が中心となって市民から寄付 (150 万円) を募り、萩市の補助 (150 万円) を合わせて、天体ドームが完成し、15 センチ屈折式望遠鏡が設置された。



萩市郷土博物館に設置された 15 c m 屈折式望遠鏡。平成 12 年 (2000) まで 33 年間、使用された。



現在の萩博物館にある 40 c m 反射式望遠鏡

